

遠乘之卷

聞書
全

和装本

ケ 5
44
12





大坪本流遠乗之卷

漢ニテ遠乗ト云和テ櫻將ト云都ヨリ吉野ノ花
 ノ盛ノ時花ヲ敵覽アラシメ為メ左右馬寮ノ司左
 馬頭右馬頭ヘ仰付ラレ明ケテツニ乗出シホタ天子
 ノ御目覺サレ前ニ櫻ノ花ヲ手折テ花篋ニ入歸
 敵覽ニツナユル也故ニ櫻カリト云

俊成ノ哥ニ

何ヤえんかみみの様より花の落ちるまの
 又櫻雁ト云テ櫻カリト云説アリ大成誤也

曙

夫遠乘習之徳ニ依事ナレ凡

遠乘ハ習ノ傳アリテ千里ヲ行馬ワカレヌ乗人ロウ
セヌシテ遠クイタル也

驚タル馬ハ行ノ難シ故ニ乗人ト馬ト相應スルヲ專也
然スル時ハ急緩ノ手綱ヲ以テ馬ヲ扱ヒ

前ニ云習ノ徳ニヨレ凡驚馬ハ行事成カタシ悍ヨ
キ馬ナラテハ行事ナシ又乗人思ヒテハ行事ナ
シ故乗人モ達者馬モ悍能馬ニテ人馬相應ナラ
テハ行カタシ急緩ハイツクユルヤカナリ此心ナラテ

ハ難行イカ程イツク使ナリ凡急緩ノ手綱ナラテ

ハ行カタシ

宮高角キウカク徵羽ウノ息ヲ感シテ乗故百里カ外ニ早走スル
事飛鳥ノ如クニシテ馬幣ルニナク猶モ遠里カ外ニ
翔ラント思フ氣カ餘リアルヘシ

宮高角徵羽○宮ハヒイヨリツクイキナリ○高ハ
ハイケイヨリ出ルイキナリ是馬常ニツクイキナリ
○角カンケイヨリツクイキナリ○徵心ケイヨリ
ツクイキ○羽シケンケイヨリツクイキ是ヲ能マカシ

カヘテ衆ヘシ

右ノイキ合カニカヘ衆トキハ百里衆テモ馬ツカ
ル、事ナシ

遠衆ノ馬ノ事又上悍ニシテ息強ク足早クテ拍子能
キ馬ヲ可トスル也

右ニ云如ク悍體ニアラスレテ行事ナシ息ノ強キト
云ハイキノ音ナキヲ強キト云尤遠衆ニ拍子ハ不
衆モノナリシカレ拍子ノ息ニキハ衆ツカレ故ニ拍
子ノ能馬吉

遠衆馬具之事鞍鐙ハ作ヲ用

作ノ鞍鐙ノ徳ハ遠衆ノトキ入也人馬イタニナシ
其内ニテモ鞍ハ大形鐙ハ五六ノ小形ヲ用

鞍鐙ハニ寸又定リ有リ然レニクノ付様ニテ大形
小形アリ鞍ハ大形ヨシ鐙ハ小形ヨシ

轡ハ馬ニヨリテ大中小ヲ辨ヘシ鑣ハ渡リ長ニシテ金之雜マナハリ
タルヲ用ヘシ

就中韉カシ魚イサケハ馬息スル物也故ニ能ク吟味スヘシ

シタウラ

ハタツケ古キヨシ和ラカナルヲ用ユ馬ノセニアタリナシ
其外遊鼻革三尺繩二重鞆軍袋袋柄涂ノ布一端ヲ
用也

アウエ鼻革ノ串一日來時ハ不入三日モ四日モ来ト
キ入也三尺繩轡ハワレサル具也二重鞆仕掛ナリ
軍袋軍具卷ニ出タリ

馬ヲ張り立四方ヨリ臟腑ヲ揉合其後柄ノ布ヲ三ツニ
疊テ馬ノ腹ヲ二重ニ卷也勿論鞆ノ下ヲ卷ヘシ扱ニ重
鞆ヲ仕掛鞆ヲ置ヘシ

布ヲ三ツニ疊ト有ハ三重ニ腹ヲ卷也二重腹帯仕
掛アリ

鞆ノシメ加減ハ指ニワ入程ニシメヘシ鞆ハ常ヨリ少シ緩
リト仕付タル吉

鞆シメヤウ書面ノ通り鞆ハキヲ入テシメテキヲ
ヌクト能カケシ也

面懸ハ口起キニ依也小紋ハ成程緩リト結ヒ三尺繩ヲモ
常ノ如ク掛ヘシ

亦遊鼻革ヲ入半繩ノ末ヲ鞆ニ能コロニ結ヒ留テ可也
總^{ツラノ}而障泥ノ紐^ノヲテモ疵カサルヤウニ仕付ル^ノ肝要也軍
袋^ノ後ノ左右ノ鞆ニ付ル也

遠乗ノ時モ常ノ時モ響^ノ陰陽ヲ辨ヘ^ル肝要也

此鑣ヲ男鑣陽ノ鑣也

此鑣ヲ女鑣陰ノ鑣也

一右ノ鑣春ヨリ夏マテハ男鑣ヲ左ヘ仕掛ヘ^シ秋ヨリ

冬ハ女鑣ヲ左ヘ仕掛ヘ^シ又ハ鑣ノ紐^ノヲモ
亦^ハ三付藥ハ四季ニヨリテ付樣ニ口傳^ニ

ハ三藥色^ノアリ後ニ記小袋ニ入男鑣エ付ル

遠乗ニハ急閉^ニヨラス何時モカ革ノ寸法ハ四寸シ用ヘ^シ

其里^ノカ革ハ長キヨシ

乗人ハ二日前ヨリ其心得有テ荒キ物ヲ食ス^ル有ヘカ
ラス其時ニ至リテハ布ヲ三ツニ畳テ膝ヨリ上リ卷ヘ^シ

乗人ハ二日前ヨリ氣カシヤシ^テ七腹内シト^ルエ
テ乗ヘ^シ布ヲ三ツニタム是モ三重ニ卷串也

亦下帯ハ常ヨリ少シ緩リト結ヒ上帯ハ能コロニシメタルヨ
シ勿論大小ハカタツカナル様ニ三尺手拭ヲ以堅ムヘシ口傳

書面ノ通り大小カタメヤウ有

同馬モ二日前ヨリ荒キ物ヲ飼更ナク地乗ヲ專トシテ
其里數ヲ計テ藥ヲ飼氣カラ調ヘキ事第一也

馬モ前ヨリ腹内氣カラ調藥或ハホレノ散ナリ

用テ氣カラ大一ニ調ヘシ

結狩手綱ノ事七日路八日路ノ所ヲ二日三日ニ馳チ著行
更也馬息スル事ナシ唯地乗專也是ヲ號テ櫻狩ノ手

綱ト云也

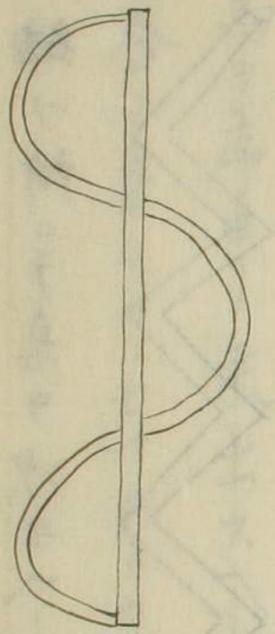
三日四日路ノ道ヲ乗ニ先數里シハカリテ地乗ヲス

ル數里ヲ結寄テ乗故名付テ結狩手綱ト云故ニ

其數里ヲ乗リ心見テ後乗故馬ワカレ息スルナレト

ナリ

馬ニ息次セヤウノ圖

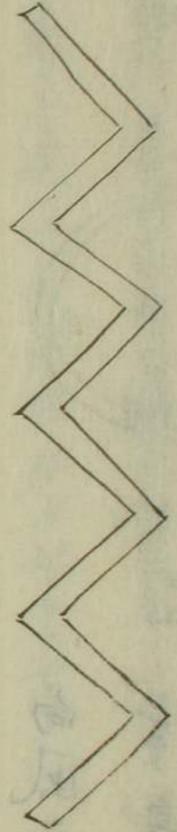


向風ニ行時如此乗廻

シテ息ヲ入サセヘシ

結フ所ニテ息ヲ次セヘシ

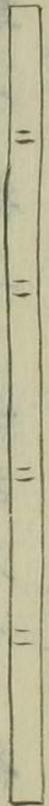
口傳



山ヲノホルニ角
ニテ息入ル也
九折ニ乗也

角々ニテ息ヲ次セヘシ

口傳



シラヒ風ニ息入サ
セヤウ居テ息
入ル

居切リテ息ヲ次セヘシ

口傳

鞍ノ内ハ豊ニ上ノ心ヲ直ニシテ急ク氣ヲ志シ兩ノ鑿

ハ強クナク弱クナク馬ニヨリテ踏ヘシ

ナリソウシテ乘人氣セハシクシテハ難行馬無理ニ

シテ難成イカ程イツク使ナリ凡序ヨリ早足ニ

乗出シテハ人馬凡ニワカル、故ニ豊ニ急心ナク乗

ヘシ鑿ハリキミナクヲノレナリニ踏ヘシ

手網ハ挾ク取りタレ吉目著ハ弓杖三ツホトホウジ

ニ定テ馬ヲ序ヨリ乗出スヘシ

手合ノ事ナリセマクトリタレ吉手ツカレサルモ

ノ也

如何程急ク使成共急ノ調子ヨリ乗出セハ^{ヤカテ}頷而息ヲ絶スル物也

右云如ク急ノ調子ヨリ乗出ス^一有ヘカラス序ヨリ乗出スヘシ

或一町之内ニテ一所カ^{ナイシ}乃至二所ハカリニテ息ヲ次セヘシ結廻ス所ニ息ノ次セヤウアリ亦折掛ル角ニテ息ヲ次スル^一モ口傳アリ直ニ居切テ響ニ會釈ヲカセテ走スル^一モアリ

緞令ハ高ノ息ヨリ角ノ息マテハ急ニ乗ヘシ宮ノ息ニ至テハ調子ヲ静メ手綱ヲ免メ馬ノ趣ヲ窺ヒ引合セ乗時ハ調子揃

高ノ息ハ肺ケイヨリ出ル息常ノ息也此ヨリ角ノ息マテハ急ノ拍子ニ乗テモ吉宮ノ息ハ得胃ヨリ出ル息中分ナリモハヤ大事ナリ故馬ヲシツメ馬次第ニ乗行ヘシ

微ノ息ニ至リテハ猶馬ヲ静メ野足ニ地道ヲ乗能ク息ヲ次セテ亦序ニ^{カエシ}還シテ乗ヘシ^{ツム}勢ハ羽ノ息ヲ乗切ル

夏有へカラス

徵ノ息ハ心経ヨリ出ル息也馬ハ火ノ躰ナリ火サカ
ニナル物也徵息ヲラクナリ心火タカフリテ一躰ノ木
カハクト馬死スルナリ故ニ徵ノ息ニ至リテハ猶馬ヲ
静テ野足兼へシ羽ノ息ハ心経ヨリ出ル息也徵
ノ息ヲ兼切トキハ心火タカフリ水カハク故ニト羽
息ニナル水カハクト馬死スルナリ故ニ羽ノ息兼車
ナカレ

然共馬勞レテ已ト羽ノ息ニナリタラハ針ヲ指テ藥ヲ飼ヒ

暫ク馬ヲ休メヘシ口傳有

然氏馬ツカレキタリテシセント羽ノ息ニナラハ針ヲスレ
ナリ針先ニ分程出シ馬舌ヲ一東ニツカミテ舌ノ真
中程ヲサスナリ尤ヨコハリニツカフヘシ羽息ニナリ
タル馬ハ血出サル物ナリ少ニテモ血出レハ舌舌へ
針ヲサスハ馬ハ心火タカフリタル物也故ニ息ヲ切
ルト心火タカフリ水カハク舌ハ心経イ也心火シヤ
ウチヨウ舌血毛ト云故舌針ハ心火ノ子ヲトリテ
息ヲタスク藥ハシヤクリウ丹 ワクメイ丹ナトノ類ニ

時、鑣ヲ拔替こゝ乗へし勿論片ハミノ合セヤウニ秘
事有一日ノ内ニ三四度モロヲ洗ヒ或ハ鞭先ニテ羈ノ房
ヲ搦ミ口ノ廻リノ泡ヲ幾度モ救ヒ乗行へし

鑣ヲスキカヘク乗ル片ハミノ合セ様ハ日カケノ方へ
鑣ヲスキ出シテ乗行キ又片鑣ニスキカヘスキカヘ
タル鑣ヲ又日カケノ方へモタスへし是日カケノ方ノ
ヒエタル鑣舌ニ當リハ火ヲサマスヘキ為ナリ鞭先
ニテ羈ノフサヲカラミ口子ハリヲトルハ馬上ヨリスルコ
トナリ

若馬之癰ニアラハ左右ノ四目ノ上々再ニテ血ヲ少し取へし
針ノ指ヤウハ立針可也癰ムナシ

針ヨコハリニテハ口大キニアク故立ハリカナリ
亦少しハカリ癰タルニハ穿ヲ焼テ四目ヲ暖メへし

カウカイヲ竹ニハサミテ焼テ四目へアツル
扱馳着タル時ハ先靫ヲシテ直シ響ヲ入替靫靫障泥
等シハ其外スへし口ヲハ粘リナキヤウニ能ク洗ヒ息合
藥ヲ飼明繩ヲ懸テ馬ヲ張ルへし張ヤウハ乗行タル時ノ
頭持程ニ張タル吉其後呼吸ヲ勤ヘテソロク物ヲ飼へし

條口傳

呼吸ヲ勸ヘルハクワントウノミヤクヲカシカエベシハ
シヤウモノ所ヲトル物ナリ此所ヲトリヤミテ後
カイヲ付ヘシヲトリツヨキ内ハカイツタル夏ナカレ
結狩針之事血意躰ト號テ舌前ヨリ手一束ハカリ
奥ヲ立ル也

血意躰トハ舌ハ心ケイ也心ケイノ舌ヨリ血ヲ取ル意
持心也故血意躰ト号ス也手一束ニ舌ヲニキリテ針
舌ヲ立ル也

血滴止ラハ又指ヘシ立針ニ遣フヘカラス横針可也血滴
止メハ息スルト心得テ幾度モ針ヲ遣フヘシハ息合
息ツカレタル馬ハ血ナルモノ也故血少シ出テ止ラ
ハ又遣ヘシト也立針ハ患シ横針ツカヒウハ皮ヲ切
リ破リテ血ヲ取ル也
緞令三日路棄テ息絶ル馬モ右之針ヲ遣ヘハ又三日
路棄ル也如此針ノ徳ニテ棄トイヘハ息絶レタル馬ハ
大概死スルモノ也然間地棄リ能心得テ針ヲ立ヘシ
書面ノ通り也針ノ徳ニテ行也

結符藥之事

參郎圓

人參但之露頭ヲ去リテサアフル
女郎花實但白水ニテ洗其俣

右二味等分ニ粉抹シテ甘草ヲ煎シテ煉堅メ○是
程ニ丸シ荒和布ニ包ミ其上ヲ緋繩ヲ細ク縁搦ミ
テ響ノハミノ丁番ニ結ヒ付ル也口傳

響ノ鑢エ右藥ヲ付ルハ男鑢エ付ル也

亦一方ハミノ渡リニハ三年味噌ト牛膝ヲ等分ニ摩
合テ○是程ニ丸シテ緋ニ包結ヒ付ヘシツノ外息合
藥ニ付藥ノ法ハ醫術ノ書ニ包有之也

三年味噌ハヒイラツヨクスルナリ牛膝ハ足ヲ強ク
スルナリ

鞭先之息合之事

口傳

寒冷水ト云藥也 是ハ竹ノフシ中ヲ切リ上下ニ
節ヲコメテ糸ヲ付寒中ニフジヤウノ内エ入テ三十日
ヲキ寒明ケテ引アケヨクアライ日カケニヲキテ能ク
カハカセテ後竹ヲ打ワリテ見レハ中ニシロキ物アリ
是ヲトリテシク殊外ムサキモノ故年ニテ不取木
切レナリ凡ツケテ馬ノ口ニ入ル故鞭先ノ息合ト云



如此ニ竹ヲコシラエテフシヤウノ
中へ入ル〇又右ノ藥ナキトキハ鞭ニ紙ヲ卷テキレ
イナルセ、ナキノ中へ入テ馬ニカウモ吉シ

乘人之息合藥之事

口傳

人參ヲ五分程ニ切リテ臍齒ニカミシムル又カニウ
五分ホトニ切リカミテモヨシ

閑ニ遠ク乘ニハ馬ニヨリテ一里モ二里モ乘行テ馬ヨリ
下リテ歩ミ馬ヲ牽セ亦打騎幾度モ如此乘ハ人
馬氏ニ癱ムトナシ亦鞍ノ内ハ真行走左右ノ居木ニ乘

替ミニ鐙モ踏出シ踏流ニ或足ヲ投出シナトシテ乗ク
ル吉午綱ハ勿論諸手綱ヨリ片手綱ニ移シ或ハ腰手綱
ニ堅メ前輪ニ打懸テ乘行テモ可也口傳

書面ノ通

日ニ向テ乘行時ハ上ヨリ背ヲ取同日ノ方ノ眼ヲ塞キ片
眼ヲ以テ路筋ヲ見ル時ハ明カニ路見ル物也

躰頭ニヒ子リテ乘行也

風ニ向テ馳スル時モ上ヨリ背ヲ取リテ前輪ニ懸リ頭ヲ俯
テ眼ヲ半目ニ開キ目着ハ弓杖程ヲ見テ乘行ヘシ

是モヒツミヲ取り乗ナリ眼ハスナ入名時ハ小ヨリヲ
シテ鼻ハ入クサメヲスヘシ目ヨリスナ出ルナリ

野粥之事

口傳

真ノ野粥ト云ハ師傳ニモナシ乗人ノハタラキヲモツテ
日ニカウナリ傳ナシ

走ノ野粥ハ二合ハミナリ

一豆 煮テ日ニホレカタマリ 一モナ米 二合

一合 煮テ日ニホレカタマリ 一晩草米 二合 ムシテ日ニホレ

一カ子粟 二合 コニシテ 一ケンシツ 二両 ウハカハ

アマカハシサリ 一レシニク 二両 ウハカハアマカハ

一サレヤク 四両 白水ニテヨクアラヒ

右合テ水ニテ子リ中粟程ニマルメテ八〇程ツ馬ニ

カフ

遠乗尤陣馬ニハ米ヲ洗ヒ布袋ニ入テシホテニ付テ日ノ
内ニ二三度モ可飼也

右ヤトニ付テ米ヲ出シ水ニテアラヒ馬ニ飼也

乗人ノ粮ニハ糶ヲ用三尺手拭ニ包ミ水ニ添其俵引上

乗人ノ腰ニ巻付乗ヘシ食セント思フ時取出シ見ハ常

飯ノ如ク柔ニナル物也

水ニ付ルハ悪シ湯ニ付テ引上ケコシニ卷吉

千里沓之ヲ茗荷ノ肥テ長キヲ取テ二ツニ引割キ板ノ
上ニ載テ能打其後中ノ椎ヲ取テ捨皮ノ方ラ日ニホシテ
沓ニ按ヘシ同ハ其冬ノ寒ノ水ニ滲シテ暫ク日ニテテ濕
リ氣有内ニ能マ打テ柔ニナシ其後沓ニ按ヘシ口傳

沓ハ百里沓千里沓万里沓ト有○百里沓ト云ハ
ワラヲヨクウケテ緒ヲマセテ沓ニ按ク強キ物也千
里沓ハ書面ノ通り

万里沓之事女ノ髪ノ毛長ヲ以テ沓ヲ按也按付ハ強キ
緒ニ髪ノ毛ヲ縁雜按スヘシ其後右ノ沓ニ油ヲ引テ置ヘ
キ也

此万里沓ハ櫻カリニハアレ、沓重キ物櫻カリニ千
里沓ヲ用ユ書面ノ通り

金沓之事

口傳

テツラ以テコシラユルナリ沓ヲ打テ其上ニ金沓ヲ打
也金沓ノ裏ニヒヤウヲ打テラクナリスヘリ道張ノ
上雪中ナトニ打テ衆ニ吉

遠路ヲ兼テ足^ツ疲^レ名^レ時ハ細繩ヲ以テ兩ノ股ヲ堅ク結テ
足ノ裏ニ鹽ヲ塗ヘシ必足輕ク成者也

書面ノ通り

余は... 遠路ヲ兼テ足疲名時ハ細繩ヲ以テ兩ノ股ヲ堅ク結テ
足ノ裏ニ鹽ヲ塗ヘシ必足輕ク成者也

